

第12期(令和6年度)事業計画

(令和6年4月1日～令和7年3月31日まで)

I. 外国人留学生募集及び奨学金支給事業

1. 令和6年度の守屋奨学生の募集並びに選考を行う。6年度の第43回生の募集人員については、コロナ禍のため残余予算の留保分を充当して、3年度から1名増やして6名としたが、6年度も引き続き6名を維持する。
2. 令和5年度に採用した42回生(修士課程、博士課程)6名については、令和6年度から増額した奨学金月額100,000円を支給する。
3. 令和6年度も令和5年度に準じた募集要項で奨学生を募集する。
 - ①大学院修士1年次及び博士課程の学生とする。
 - ②地理学、歴史学、社会科教育学の専攻者の他、社会科学系の分野に関係のある諸科学の専攻者を対象とする。
 - ③支給額は現行月額70,000円を100,000円に増額する。
 - ④採用人員は6名とする。
 - ⑤書類審査スコアシートによって、各選考委員が審査し、その結果を持ち寄って選考委員会を開き、6名を選考する。
 - ⑥特に地理学専攻の学生を採用するために、指定校で地理専攻留学生がいればその指導教授に推薦依頼をする。(明治大学 大城直樹、早稲田大学 池俊介、立教大学 野中健一各教授)。さらに本年度新たに訪問して依頼した3大学、東京大(永田淳司教授)、お茶の水女子大(長谷川直子准教授)、東京農工大(新井祥穂教授)にも推薦依頼をする。さらに指定校外で地理学科のある大学に地理学専攻の指導教授に面会を求め地理学専攻の学生が獲得できるよう開拓してゆく。
4. 奨学金の支払いは3ヶ月毎に行う。支給については支給交付会を設け、奨学生に直接交付する機会を年間3回はもち、奨学生との交流にも力を入れる。
5. 留学生には奨学支援とともに、日本の社会・文化・伝統をよく理解してもらえよう、社会文化や伝統文化が体験できる新たな対象を工夫・開拓してゆく。

この件に関して、選考された奨学生の指導教授に直接活動趣旨を伝え、奨学生が参加しやすいよう配慮を依頼する。

また、帝国書院の「留学生を囲む会」、吉祥女子中学高等学校守屋留学生交流会を引き続き実施する。
6. 1年目奨学生は日本の教育の理解を深める活動として、帝国書院の中学校地図帳と社会科教科書(地理・歴史・公民のうちから1つ選んで)の読後レポートを提出してもらおう。このレポートは帝国書院編集部に見てもらいそのコメントは奨学生に伝え、レポートは財団役員にも配布し財団の活動の一環として見てもらう。

また、守屋奨学生が執筆する「異国日本の地に立って」が掲載される帝国書院発行冊子「階」も引き続き財団役員にも配布し留学生の活動成果として見てもらう。

7. 年度末奨学生が提出する「学習報告書」に対しては、財団役員に指導・講評をお願いする。
8. 本年度の守屋奨学生終了生に対しては、令和7年3月1日(土)に「守屋奨学生終了記念会」を開催し、財団全体で終了をたたえ「守屋奨学生証書」を授与する。
9. 守屋奨学生OBに対しては、終了記念会への招待やOB会行事で交流をはかる。

II. 教育・学術・文化交流助成事業

1. 当財団の助成の対象になる事業に対して、申請があったものは審査のうえ、要件に適合すれば助成を行う。

東京日本語教育センターは2名、倉敷市の大学院生の倉敷市守屋奨学生1名は引き続き実施する。

III. 令和6年度奨学生募集活動

1. 採用人数

選考会で選考のうえ、理事会で承認された人数を採用する。

2. 指定校

募集する大学は下記の指定校11校とする。1校に対して2名以内の推薦を依頼する。

上智大学(33) 駒澤大学(20) 東京外国語大学(34) 東京学芸大学(29)

拓殖大学(38) 東京都立大学(23) 早稲田大学(33) 明治大学(17)

立教大学(13) 青山学院大学(22) 国際基督教大学(13)

《()内の数字は指定大学別守屋奨学生採用者の累計数》

3. 募集活動

昨年通り、募集は3月末に行い、推薦の締め切りは、5月7日(月)とする。

令和6年度収支予算書

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

(単位円)

科目	令和6年度予算額			令和5年度予算額		
	公益目的事業会計	法人会計	合計	公益目的事業会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
基本財産運用益	9,636,037	1,070,671	10,706,708	9,635,670	1,070,630	10,706,300
基本財産受取利息	4,912	546	5,458	4,545	505	5,050
基本財産配当金	9,631,125	1,070,125	10,701,250	9,631,125	1,070,125	10,701,250
受取寄付金	6,620,000	4,200,000	10,820,000	2,000,000	4,200,000	6,200,000
受取寄付金	6,620,000	0	6,620,000	2,000,000	0	2,000,000
受取寄付金	0	4,200,000	4,200,000	0	4,200,000	4,200,000
雑収益	38	38	76	38	38	0
受取利息	38	38	76	38	38	0
雑収入	0	0	0	0	0	0
経常収益計	16,256,075	5,270,709	21,526,784	11,635,708	5,270,668	16,906,300
(2) 経常費用						
事業費	17,030,000		17,030,000	12,436,000		12,436,000
会議費	1,000,000		1,000,000	1,000,000		1,000,000
旅費交通費	100,000		100,000	140,000		140,000
研修旅行	300,000		300,000	0		0
通信運搬費	0		0	0		0
図書購入費	70,000		70,000	54,000		54,000
事務委託費	100,000		100,000	100,000		100,000
消耗品費	0		0	2,000		2,000
印刷製本費	0		0	0		0
奨学金	15,360,000		15,360,000	11,040,000		11,040,000
助成金	100,000		100,000	100,000		100,000
手数料	0		0	0		0
管理費		5,482,400	5,482,400		5,691,400	5,691,400
役員報酬		2,200,000	2,200,000		2,200,000	2,200,000
給与手当		2,400,000	2,400,000		2,400,000	2,400,000
渉外費		0	0		20,000	20,000
会議費		300,000	300,000		400,000	400,000
旅費交通費		150,000	150,000		170,000	170,000
通信運搬費		100,000	100,000		120,000	120,000
図書購入費		0	0		0	0
事務委託費		100,000	100,000		100,000	100,000
消耗品費		10,000	10,000		30,000	30,000
印刷製本費		0	0		0	0
租税公課		1,400	1,400		1,400	1,400
手数料		111,000	111,000		120,000	120,000
雑費		110,000	110,000		130,000	130,000
経常費用計	17,030,000	5,482,400	22,512,400	12,436,000	5,691,400	18,127,400
I. 当期経常増減額	-773,925	-211,691	-985,616	-800,292	-420,732	-1,221,024
当期一般正味増減額	-773,925	-211,691	-985,616	-800,292	-420,732	-1,221,024
一般正味財産期首残高			6,548,823			8,076,558
一般正味財産期末残高			5,563,207			6,855,534
II 指定正味財産期首残高			319,305,000			319,305,000
指定正味財産期末残高			319,305,000			319,305,000
III 正味財産期末残高			324,868,207			326,160,534